



東京大学理学系研究科・理学部ニュース

2008年11月号 40巻4号

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/>



上から、「杉魚 又加持幾 又奈々子魚」(すぎうを, シマイサキ), 「飛魚 漢名文鯢魚」(とびうを, トビウオ), 「笛吹」(ふゑふき, ハマフエフキ幼魚)。

※ ()内は「衆鱗図」記載名、現和名。

～発掘 理学の宝物「衆鱗手鑑」より～

特別記事：南部陽一郎先生のノーベル賞受賞



左上から、「義左女」(きざめ, ホシササノハベラ♂), 「女郎魚 讃州方言 邊 呂古」(べろこ, キウセン♀), 「無名 讃州産」(該当項目ナシ, マアナゴの葉形仔魚[2匹とも]), 「江曾ノ於波 讃州方言」(糸そのをば, オキエソ), 「別種 女郎魚」(あをべろこ, キウセン♂), 「江曾」(糸そ, マエソ)。



左上から、「白鱗」(白ハエ, ハス幼魚), 「鯛 漢名鯛」(鯛, ギンブナ), 「赤魚」(赤魚, ウダイ), 「赤松」(赤松カカラ, オイカワ), 「本子」(ボンノコ, ハゼ科の一種), 「塩吹鯛」(シオ吹鯛, ギンブナ狎頭個体), 「苦鯛」(ニガ鯛, ヤリタナゴ)。

※ ()内は「衆鱗図」記載名, 現和名。

～発掘 理学の宝物「衆鱗手鑑」より～